



# くりはら 市議会だより

第58号

平成30年11月16日

平成29年度決算認定など 2

決算審査 ここが聞きたい 4

常任委員会 付託議案審査 7

一般質問 まちづくりに20人登壇 12

「私もひとこと」

佐々木 勝康さん(鶯沢)・佐藤 泰子さん(金成) 22

「繋ぐ伝統」

若柳地織機元 千葉孝機業場

(迫栢高校写真部提供)

# 26議員が慎重審議



澤邊 幸浩



小野 久一



佐藤 庄喜



議長 瀬戸健治郎



鹿野 芳幸



佐藤 範男



佐藤 千昭



五十嵐 勇



高橋 義雄



高橋 勝男



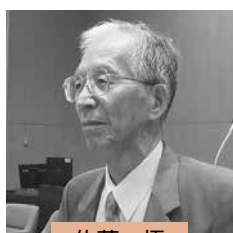
三塚 東



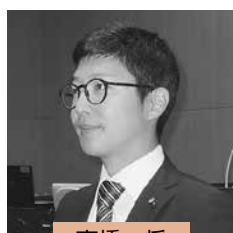
高橋 渉



石川 正運



佐藤 悟



高橋 将



沼倉 猛



濁沼 一孝



阿部 貞光



佐藤 文男



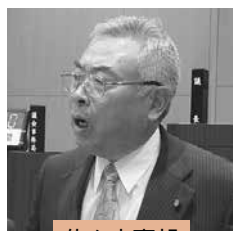
菅原 勇喜



三浦 善浩



相馬 勝義



佐々木嘉郎



佐藤 勇



佐藤 久義



菅原 正剛

9月定例議会は、9月11日から10月4日までの24日間の会期で開かれました。一般質問には、20人の議員が小中学校にエアコンの設置、障がい者雇用、地域公共交通再編実施計画、学力向上対策、入札制度の改善策など56項目にわたり市の考えを質しました。

また、栗駒山麓シオパークの情報発信・体験・学習の場となるビジターセンターの設置・管理を定める「栗原市栗駒山麓シオパークビジターセンター条例」の制定、人権擁護委員候補者の推薦、補正予算などを審議し原案のとおり可決しました。

平成29年度の一般会計、特別会計、事業会計の決算は、決算特別委員会を設置し集中審議の結果、原案のとおり認定しました。

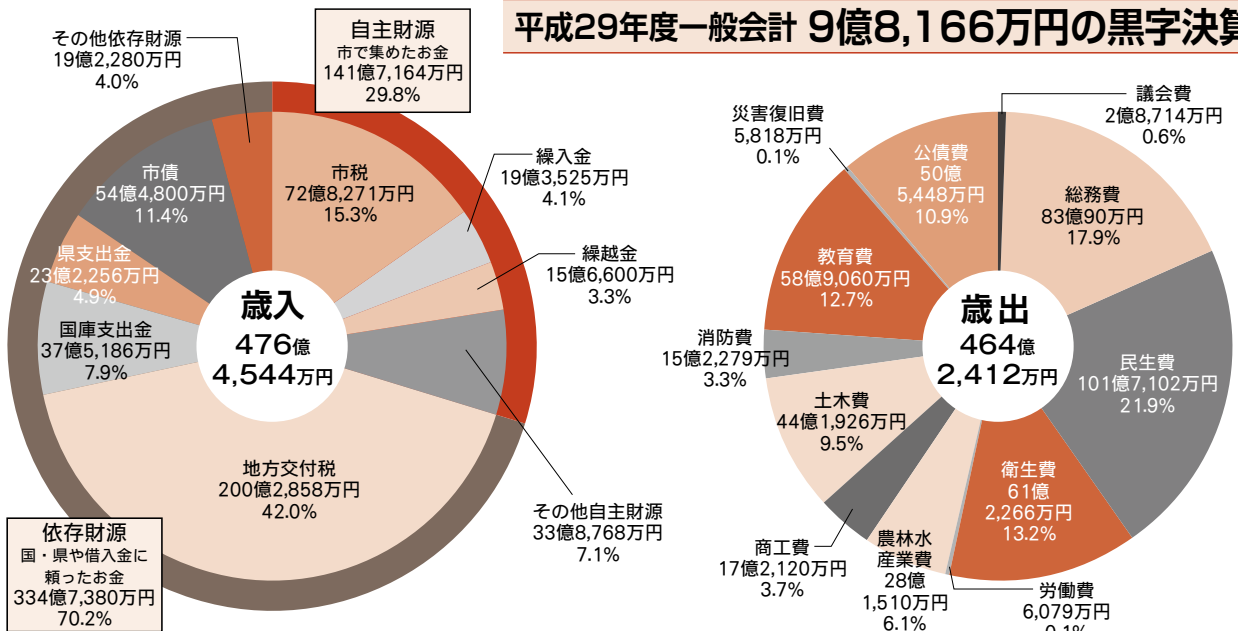
平成29年度  
一般会計の決算

歳入は、平成28年度に比べ、市税は1億4989万円増の72億8271万円。地方交付税は、6億5748万円減の200億2858万円。県支出金は、3億5026万円減の23億2256万円。市債は、2億6680万円減の54億4800万円となりました。

歳出は、総務費において、公共施設整備等基金事業、地域集会施設新築改築修繕事業などにより83億90万円。民生費は、高齢者生きがい健康づくり等事業、子育て応援医療費助成事業、保育所運営事業などにより101億7102万円。教育費は、学府くりはら教員等配置事業、スクールバス運行事業、語学指導を行う外国青年招致事業、瀬峰地区幼保一体施設整備事業、築館多目的競技場整備事業などにより58億9060万円となりました。

歳入歳出の差引額は、12億2132万円となりますが、翌年度への繰越額が2億3966万円、実質収支は、9億8166万円の黒字となりました。

平成29年度一般会計 9億8,166万円の黒字決算



ピックアップ

一般会計  
議会の決算を見る

政務活動費  
143万円

議員に政策調査研究などの活動のために支給される費用です。

詳細はP8の表のとおり

市民1人当たり支出額  
21円

議会だより  
396万円

議会だより印刷代です。4回発行し、1回当たり2万5,000部発行しております。

市民1人当たり支出額  
57円

議会インターネット  
中継委託料124万円

インターネットを利用してリアルタイム中継や録画映像を配信しています。

市民1人当たり支出額  
18円

議員手当  
3,307万円

議員26人の期末手当です。平成29年度は年間3.3月分支給。

市民1人当たり支出額  
480円

議員報酬 1億2,660万円

議員26人の報酬です。議員の月額報酬は、議長49万7,000円、副議長43万円、議員40万1,000円となります。

市民1人当たり支出額 1,836円



※市民1人当たりの支出額は平成30年3月末現在の栗原市の人口68,946人で計算しています。

# 決算審査

## ここが聞きたい

平成29年度の一般会計や8特別会計・2事業会計の決算は、議会議員が全員（議長を除く）で構成する決算特別委員会（委員長 高橋勝男議員）で審査しました。

審議は市政全般にわたり、多くの質疑がありました。主な質疑をお知らせします。



高橋 勝男 委員長

### 総務課

**18歳・19歳の若者選挙の投票率は**

**問** 選挙権年齢が引き下げられたが、18歳と19歳の投票率はどうか。

**答** 昨年10月の衆議院議員選挙・宮城県知事選挙の投票率は、18歳が52・55%、19歳が32・88%であった。

### 管財課

**宅地分譲地の売却状況**

**問** 宅地分譲地売却収入の内容は何か。



昨年オープン くりでんミュージアム

### 答

築館加倉団地が7区画、ドリームタウン若柳が1区画、定住促進分譲地が6区画売れたもの。

**問** 定住促進分譲地の市内への移住者数は

**答** これまでの事業全体の実績として、市外からの移住は、申込み時の数で25世帯88人である。

### 税務課

**固定資産税滞納への対応は**

**問** 毎年、固定資産税の不納欠損が発生しているが、払われなければ不納欠損になるという考えを持たれる心配がある。他

の税のように滞納すれば差し押さえなどを行うのか。

**答** 安易に不納欠損しないよう徴収対策に取り組んでいるが、固定資産税は、納税力がない方や会社の倒産、納税義務者の死亡に伴い相続放棄されているなど、同じ方が不納欠損となるケースがある。差し押さえは、固定資産税でも行っている。

### 企画課

**オープンから1年くりでんミュージアム**

**問** くりはら田園鉄道公園管理運営で4595万円の支出に対し、収入は800万円程度で少ない。ミュージアムがオープンして1年、運営しての感想と今後の戦略はどうか。

**答** 大規模修繕の約2000万円、収入などを差し引き、約1500万円の赤字である。今年度の推移を見ながら、赤字を減らす工夫をしていきたい。今年度は100周年記念や企画展・パネル展を実施し、有識者からもアドバイスを

### 建設課

**若年者採用・技術者育成支援**

**問** 建設業若年者採用および技術者育成支援事業補助金は、昨年度より倍以上の実績を示しているが、企業数と人数、資格の種別は。

**答** 平成29年度実績は、若年者採用が10社16人で288万円。資格取得者は4社で7人の実績。

主な資格は、車両系建設機械の整備部門、小型移動式クレーンなどの資格。建設業者などへのPRの成果が現れたものととらえている。

### 産業戦略課

**新規創業者を支援**

**問** ニュービジネスチャレンジ等支援事業補助金の補助を受けた事業所の内訳は。達成率が事業

所の内訳は。達成率が事業



栗原産子で和牛の郷づくり

初年度としては低い、宣伝・周知は。

**答** 賃貸料補助は、リラクゼーション業と飲食業。改修費補助は、リラクゼーション業、デイサービス業、飲食業である。平成29年度は、PR不足のところもあった。今後は研修会、PR活動に努めたい。

**農業委員会事務局**

**農業者年金加入促進**

**問** 農業者年金の新規加入者1名となっているが、どのような加入促進活動を行った結果1名となったのか。

**答** 農業者年金加入促進月間を設け、農業委員が個別訪問し加入依頼している。保険料が月額2万円から6万7000円で選べるが高額なこともあり1名の加入となった。新規加入者は44歳の認定農業者である。今後は家族経営を含めて若者の加入促進に努めていく。

**農林畜産課**

**栗原産子で和牛の郷**

**問** くりはら和牛の郷づくり支援強化事業で、平成29年度までは宮城県内の基幹種雄牛だったが、

平成30年度から栗原産の基幹種雄牛にしたのはなぜか。

**答** みやぎ全共に向けて優秀な牛を確保することとしてこれまで補助金の加算をしてきた。今後は栗原産の優秀な基幹種雄牛が輩出されていることから、栗原産子での和牛の郷づくりを強化したい。

**社会福祉課**

**老人クラブ数減少**

**問** 老人クラブが148団体から140団体と8団体減少している理由は。

**答** 県の補助を財源としているため、決算などの最低限の報告は必要となる中で、申請書の簡便化を行っているが、補助金申請などの手間がかかるということや、世代の幅が大きいかも、新規加入者が少ない状況である。

**一人暮らし世帯数**

**問** 一人暮らし老人の世帯数は。

**答** 平成29年3月末3252世帯、平成30年3月末3648世帯である。

**子育て支援課**

**有効期限は6カ月**

**問** スマイル子育てサポート券の有効期限が6カ月ということは年度が変わっても使用できるかが変わっても使用できるか。

**答** スマイル子育てサポート券は年度が変わっても使用できる。

**社会教育課**

**栗原市で合宿**

**問** スポーツ・文化合宿支援事業補助金を交付した団体とそれぞれの人数は。

**答** 立教大学ホッケー部女子34名、横浜国立大学女子グラウンドホッケー1部36名、武蔵大学陸上ホッケー1部40名、東北学院大学工学部空手部10名である。

各会計の決算状況と採決の結果

区分	歳入	歳出	採決の結果	
一般会計	476億4544万円	464億2412万円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険特別会計	93億6561万円	92億1604万円	全員賛成
	介護保険特別会計	97億7403万円	95億8288万円	全員賛成
	後期高齢者医療特別会計	8億5304万円	8億4492万円	全員賛成
	下水道事業特別会計	30億6514万円	30億3122万円	全員賛成
	農業集落排水事業特別会計	2億4642万円	2億2909万円	全員賛成
	合併処理浄化槽事業特別会計	3億720万円	3億133万円	全員賛成
	診療所特別会計	5億2233万円	5億566万円	全員賛成
	工業団地整備事業特別会計	4498万円	4337万円	全員賛成
計	241億7875万円	237億5451万円		
合計	718億2420万円	701億7863万円		
水道事業会計	29億1158万円	34億6072万円	全員賛成	
病院事業会計	85億7008万円	101億2043万円	全員賛成	

※水道事業会計および病院事業会計については、収益的収入・支出および資本的収入・支出の合計額を記載しています。  
 ※議長は採決に加わりません。  
 ※端数は四捨五入しております。



新農協の本店は旧玉沢小学校を活用

# 補正予算

## 新農協本店、旧玉沢小周辺 整備に6141万円

9月定例議会において、平成30年度一般会計の予算に11億461万4000円を追加し、455億4890万4000円にする補正予算を可決しました。

**官製談合防止法違反事件再発防止事業** 60万円

事件の経過を検証し、再発防止を徹底するため、検証委員会を設置。コンプライアンス意識の浸透・徹底を図るため、全職員を対象に研修会を開催する。

**高清水総合支所駐車場等整備事業** 3299万円

支所東側の隣接地を取得し、狭隘だった進入路と併せて駐車場を整備する。

**公共施設ブロック塀等除去事業** 1982万円

公共施設のブロック塀などを点検し、施設利用者に危険を及ぼすと判断されたものの除去を行う。

**伊達いわな販路拡大事業** 72万円

栗駒耕英地区で養殖を行っている「伊達いわな」の流通促進、販路拡大のためのPR事業費の一部に補助金を交付する。

**小中学校空調設備整備事業** 1000万円  
(基礎調査費用)

小中学校すべての普通教室に空調設備を整備する基礎調査費用。

**県北部地域JA合併環境整備事業** 6141万円

宮城県北部の農協再編により、新農協の本店は、旧玉沢小学校の校舎を改修し、平成31年7月の合併を目指す事になった。校舎周辺の環境整備やアクセス道路などの整備を行う。

**ホッケー男子3カ国親善試合運営事業** 954万円

「カナダ・ドイツU23来日事業」を栗原市で開催するため、来日事業開催期間中、参加国の滞在にかかる経費を負担し、東京五輪などの事前キャンプ誘致につなげる。

# 和解

**損害賠償1件決定**

栗原市築館字蟹沢地内の市道蟹沢南沢線において、相手方車両が走行中に路面の穴ぼこに落輪し、タイヤが破損した件について、相手方との和解を成立させ、損害賠償額を決定しました。損害賠償額 4550円

# 条例

# 例

9月定例議会で可決した、条例改正について主な内容をお知らせします。

**栗駒山麓ジオパークビジターセンター条例**

栗駒山麓ジオパークビジターセンターを設置する事に関し、名称や位置、管理および運営について必要な事項を定めました。施行日 平成31年4月1日

**家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行により、家庭的保育事業等に対する施設の基準が緩和されたため、所要の改正を行いました。

# 合併特例債 今後の見込みは

## 総務常任委員会

**Q** 合併特例債の残高はいくらか。

**A** 9月補正後の平成30年度末残高は159億1191万9000円であり、現時点では、まちづくりプラン（新市建設計画）での合併特例債の限度額に達していない。

**Q** 合併特例債は、いつまで発行可能か。

**A** まちづくりプランは平成37年度までの計画であるが、法改正により延長が可能となり、計画を変更すれば平成42年度まで活用が可能と見込む。

**Q** どう生かすのか  
コンプライアンス研修

**Q** 市職員を対象としたコンプライアンス研修の中で、講師から特に強調された部分は何か。

**A** 法令順守にとどまらず、社会規範、常日頃のルール、マナーを含め、社会の要求にこたえることであることを強調されている。

**Q** 研修後のアンケートをどのように生かしていくのか。

**A** この研修に限らず、来年度以降もどのような形をとっていけば今回の官製談合のような事件が起きないか、アンケート結果を検証委員会に報告し、取りまとめていきたい。

**Q** どう行うのか  
設計業者の指名

**Q** 委託料の中で設計業務委託料が計上されているが、現在、市内や近隣市で指名停止中の業者がある中で、どのように業者選定を行うのか。

**A** 測量設計などの業者選定は、市内業者で出来るものは市内業者、設計業務の建設コンサルなどが必要なものは県内業者も含めて指名している。

# 伊達いわな 重さ800グラム以上

## 産業建設常任委員会

**Q** 伊達いわなの基準は。また、販路拡大を目的としているが、補助金の内容を聞く。

**A** 県の水産試験場で開発された、全雌3倍体いわなで、水揚げ直後の体重が800g以上となっており、伊達いわな振興協議会の加盟施設で生産されたものが、その商標を使用することが出来る。補助対象は、栗駒伊達いわな振興協議会に対するもので、イベントなどにおける伊達いわなのPR活動や、新商品開発への取り組みが補助の対象となっている。

**Q** 農作物有害獣被害防護設備  
設置事業補助金について

**Q** イノシシ被害における電気柵の補助金が増額しているが、今後、ますます個体数も増えて行く。根本的な解決策は。

**A** 現在の電気柵で個人の農地を守りながら、グループ、農地周辺へ拡大し、それ以後、集落へ

拡大していきたい。個体数を減らさなければならぬが、追いついていない。実施隊やわな資格者を増やし、通年捕獲許可を出しているので、少しでも減らしていきたい。

**Q** 危険と思われるブロック塀の所有者に  
対してはどのように対応しているのか。

**A** 所有者に対し、点検の際危険ブロック塀に関する内容とその判定結果を説明し、助成制度を活用し危険ブロック塀を解消するよう指導している。

**Q** 栗駒山麓ジオパーク  
ビジターセンターの職員は

**Q** 職員体制について聞く。

**A** 現体制である市職員4人（兼務含む）、栗駒山麓ジオパーク推進協議会職員4人と考えている。

# 旧玉沢小の校舎周辺整備

## 文教民生常任委員会

**Q** 旧玉沢小プール解体  
駐車場整備

**Q** 駐車場は何台整備するの。体育館の使用者の駐車場は。

**A** 20から30台程度に  
なる。体育館使用者はプール解体後に整備する。JAは校庭を整備し利用する。校庭の駐車場整備はJAで行う。

**Q** 校舎周辺の雑木伐採

**Q** 旧玉沢小学校雑木伐採業務委託料であるが、玉沢小学校には記念樹がある。それはこの業務に関係するのか。

**A** 玉松はJAへの貸し付けとは別となるので、市で管理することとなる。  
**Q** 雑木伐採業務委託料に300万円計上されているがどれぐらいの伐採になるのか。また、伐採する樹木は。

**A** 杉、桜など、61本の伐採になる。

道路の拡幅工事にあたる部分の木の伐採を行う。校舎北側は伐採しない。

**Q** 小学校の修繕

**Q** 小学校費に計上されている修繕料の内容は。

**A** 主なものは、築館小学校キュービクル屋根修繕、栗駒小学校体育館音響修繕、高清水小学校複合遊具修繕である。



解体される旧玉沢小学校のプール

# 意見書

9月定例議会に1件の意見書提出を求める発議案が提出され、全会一致で可決しました。  
可決した意見書は次のとおりで、内閣総理大臣など、国の機関に対し要請しました。

## 小中学校にエアコン設置を推進することを求める

近年、地球温暖化などによる影響で、全国的に夏の暑さが非常に厳しくなっている。こうした中で、学校の普通教室へのエアコン設置を求める声が、これまで以上に切実な要望として届いている。しかしながら、地方自治体の厳しい財政事情の中で、そのほかの事業と並行して空調設備を設置するためには、国による更なる推進と十分な財政支援が必要不可欠である。

国がエアコン設置に関わる公立学校に対する補助率を3分の1から2分の1に引き上げるとともに補助対象を拡充すること。

9月定例会に3件の陳情書が提出されました。

# 陳情

請願書（鳥獣被害対策実施隊について）

栗原市礼遇者

佐々木 榮一さん

ほか3名

請願書（官製談合防止について）

栗原市礼遇者

佐々木 榮一さん

ほか3名

東京電力福島原発事故由来の放射能汚染廃棄物の管理・処分に関する陳情  
放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク  
代表 鈴木 健三さん

# 人事

## ○人権擁護委員の推薦に同意

鈴木 俊さん（鷺 沢）再任  
熊居 実さん（志波姫）再任  
佐藤 司さん（一 迫）新任  
長谷川 とし子さん（志波姫）新任

## 9月定例議会での審議の結果

9月定例議会でも審議された議案は、すべて全会一致で可決しました。

## 平成29年度政務活動費収支一覧表

（単位：円）

会派または議員名	新清流	政策フォーラム	新政くりはら	社民党栗原市議団	高橋 将	三浦善浩	菅原正剛	瀬戸健治郎	合計
人数	5人	4人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	17人
交付額	1,250,000	1,000,000	500,000	500,000	250,000	275,000	250,000	75,000	4,100,000
支出項目	調査研究費	233,590	291,088						524,678
	研修費		129,236	90,756	68,600	90,648	137,766	90,648	682,654
	資料作成費								0
	資料購入費	52,812					108,335	4,214	165,361
	広報広聴費								0
	会議費								0
	人件費								0
事務費		20,088	20,088	20,088					60,264
要請・陳情活動費									0
支出額	286,402	440,412	110,844	88,688	90,648	246,101	94,862	75,000	1,432,957
返還額	963,598	559,588	389,156	411,312	159,352	28,899	155,138	0	2,667,043

## 政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法第100条第14項・第15項・第16項、および栗原市議会政務活動費の交付に関する条例の規定に基づき、調査研究その他の活動に必要な経費の一部として申請に基づき、会派（会派に所属しない場合は議員）に交付されるものです。

栗原市では、議員1人あたり月額25000円を交付しています。

### 主な使途

調査研究費 市の事務、地方財政などに関する調査研究および調査委託に要する経費  
研修費 研修会を開催するために必要な経費。他団体などが開催する研修会の参加に要する経費  
資料購入費 政務活動に必要な図書、資料などの購入に要する経費  
事務費 政務活動に係る事務処理のために必要な物品購入、使用料などに要する経費



# 表彰

## 入札制度に関する 調査特別委員会を設置

官製談合防止法違反により栗原市職員が逮捕起訴され市役所が警察から捜索を受けるなど、本市行政に対する信頼が極めて損なわれる事態となっている。

これまでの本市の入札制度の現状について調査し、今後の官製談合などの再発防止策を提言するとともに、議会の監視機能を強化するための調査・研究を行う「入札制度に関する調査特別委員会」を9月11日に設置した。委員は議長を除く25人で構成される。



※写真は左から、三塚東議員、五十嵐勇議員、佐藤文男議員、濁沼一孝議員

第94回全国市議会議長会の定期総会において、長年にわたり、市政の振興に努められた功績により表彰されました。

議員職20年以上  
三塚 東 議員

議員職15年以上  
五十嵐 勇 議員  
佐藤 文男 議員  
濁沼 一孝 議員

## 栗原市を視察

4つの議会が栗原市が行っている様々な先進的取り組みを視察に来ました。

### 群馬県議会議員

平成30年8月7日(火)  
「県産材を活用した木造建築物とした理由について」  
「東日本大震災による建物等への被害状況について」

### 島根県議会 中山間・離島振興特別委員会

平成30年8月7日(火)  
「花山地区 小さな拠点づくりに向けた取り組みについて」

### 大衡村議会 総務民生常任委員会

平成30年8月10日(金)  
「予約型乗り合いデマンドタクシーについて」  
「旧校舎の利活用について」

### 北海道余市町議会 総務文教常任委員会

平成30年10月17日(水)  
「自主防災組織について」

### 表紙の写真は 迫桜高校写真真部から

若者に議会と市政への関心を深めていただくことを目的に、また、議会と若者との交流をはかる貴重な機会と捉え、栗原市議会が発行している「くりはら市議会だより」第57号から第60号までの表紙写真を迫桜高校写真真部に依頼し、提供をいただいています。



島根県議会へ「花山地区 小さな拠点づくり事業」を説明

総務

消防団員の入団を促進

7/18 ~ 7/20

山口県下関市では、消防団員の入団を促進するため

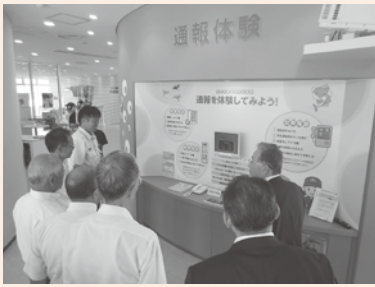
に、テレビでのコマースヤル放送のほか、「学生消防団認証制度」、「消防団協力事業者表示制度」、「消防団員優遇措置制度」などの施策により、団員の士気向上と入団の促進に努めています。また、ドローンの活用は、民間団体と協定が結ばれ、物資の運搬などの支援活動を要請できる体制も整えられています。

地域の実情に沿った公共交通のあり方

熊本市八代市では、公共交通の利用者が減少していることから、平成27年3月に公共交通網形成計画を策定し、平成29年7月に具体的な再編の実施計画が国の認定を受け、①解りやすい運賃の設定で利用者の増加を見込む②地域の実情や利用状況に応じたバス路線の見直し③乗合タクシーへの転換による運行の効率化などを図っています。

調査の結果

市は、平成31年度から100円バスや乗合デマンド交通を導入し、バス路線の見直しも行うことにしています。常に市民の要望を的確に把握しながら、実用的で利便性の高い公共交通となるよう努めるべきです。



消防局が管理する防災学習館

産業建設

道の駅整備事業及び薬用植物栽培事業を調査

7/24 ~ 7/26

市長が公約に掲げ、今年度道の駅整備に関する基礎調査業務が進められていることから愛知県豊橋市を視察しました。

豊橋市の道の駅整備事業では、南海トラフ地震に備えるための防災拠点や、道の駅と福祉関連施設をコミュニティバスなどで結ぶ交流拠点、そして特産品を使用した6次産業化を推進する計画で、その先駆性が評価されて重点道の駅に選定されました。

この取り組みからも解るように、地域の政策実現や課題解決の可能性を秘めていることを認識し、道の駅の設置について議会や市民と方向性を十分に共通理解できる体制を、早急に整備することが不可欠です。

また、中山間地域における農地の利活用への参考とするため、福井県高浜町の事業を視察しました。

高浜町では、町内の青葉山に自生している薬効のある植物に着目し、耕作放棄地の解消や農家所得の向上のため、薬草の専業農家育成を目指し、平成27年度から薬草の試験栽培を開始しました。



豊橋市のJA産直施設を調査

文教民生

学校運営協議会と不登校対策に関する調査

8/2 ~ 8/4

愛知県一宮市では小中学校が連携した学校運営を推進し、保護者や地域のニーズを反映した学校づくりを目指して学校運営協議会制度を導入していました。委員には地域住民代表として区長、在籍する児童生徒の保護者、公民館長や弁護士が選任されていました。

導入してから地域や家庭を巻き込んで運営していくようになり、地域は学校を「地域の学校」として認識できるようにしたとの事でした。

栗原市においても、学校運営協議会を参考に、各地域の現状や課題を的確に把握し、学校と地域が連携をはかりながら、学校運営に取り組みでほしい。



不登校対策の特例校を調査

栗原市においても、様々な未然防止や早期発見、早期対応に向けた取り組みをしているが、よりきめ細やかな支援を行うことを望みます。

所管事務調査

活用を広げよ  
ドローンの特性

総務  
7/12



市が導入したドローン

火災などあらゆる災害が発生した場合に、小型無人航空機（ドローン）の利用が注目されています。市が試験的に導入したドローンの活用・管理方法を調査しました。

**調査の結果**  
ドローンは本年5月に本体、バッテリー、充電器、予備のプロペラなどの備品を含め約29万円で購入しました。

活用方法は、行方不明者の捜索や災害が発生した場合の被害状況の確認です。

管理方法は、総務部の危機対策課で行います。操作講習の計画では、平成30年度は危機対策課の職員を対象にした操作講習会も検討されており、立ち入り困難かつ危険な現場での情報収集活動に役立つものと期待できます。

これからの導入計画は未定ですが、ドローンの特性を活かし、災害などのさまざまな場面で迅速に対応できるように、通信や物資運搬などの多様な機能を搭載した機種も積極的に配備し、操作可能な人員を増やしなから、活用の幅を広げるべきであります。

所管事務調査

新しい米の生産調整  
及び森林経営管理法  
の施行について調査

産業建設  
8/2

「新しい米の生産調整に関する調査」においては、水田農業に係る交付金事業の取り組み内容と平成30年度米の営農計画書段階における需給調整の実施状況について調査しました。

**調査の結果**  
本市の需給調整の実施状況は、6月末時点において、県の地区間調整を含めた生産の目安に対して、数量では445トン、面積換算で約85ヘクタールの超過となっております。

全国的には、平成27年度から生産数量目標が達成され、需給バランスが整い米価が安定基調であることから、平成31年度産米の米価の安定に向け、需要に応じた作付け品種の誘導や各種交付金を有効活用しながら、栗原市農業再生協議会において、的確に需給調整を推進していく必要があるものと考えます。

「森林経営管理法の施行に関する調査」においては、平成31年度から施行される森林経営管理制度の概要について、新たな市町村の役割や本市の対応について調査しました。

本制度の対象森林は、私有林で適切に経営管理されていない人工林を想定しており、市の役割としては、森林所有者の意向調査を実施し、その後経営管理権の設定や意欲と能力のある林業経営者への再委託など、業務量が多く長期的な事業と想定されます。

現在、詳細なガイドラインが示されておりませんが、本制度の実施により、業務量の増加に対する職員不足も懸念されることから、円滑な制度移行が図られるよう、今後も県や森林組合などの関係機関と、具体化に向けた入念な協議を行うべきと考えます。

所管事務調査

学校評議委員会および  
いじめ・不登校の  
状況調査

文教民生  
7/20



教育委員会から現状報告

「学校評議委員会の取り組み状況」、「いじめ・不登校の現状」について調査を実施しました。

**調査の結果**  
学校評議員は、保護者や地域住民の意向を踏まえ、学校運営に関するアドバイザーとして、学校運営を支えるもので、校長の求めに応じて意見や助言をします。各校5名程度の配置が運用指針には示されていますが、3名程度の学校が多く、年齢層の高い委員構成になっている学校もありました。評議員の選考には地域の状

況に詳しい方や、子ども達と関わりのある方を多く配置し、地域や家庭と連携した学校づくりが出来るよう努力してほしい。

いじめ問題に対しては、児童生徒への指導や校内研修、スクールカウンセラーへの相談体制を充実させる取り組みや、毎月、アンケート調査を実施し、いじめなどの悩みの早期発見に努めていきました。

不登校の生徒に対しては、家庭訪問やスクールカウンセラーによる相談、部活動への参加の支援や、別室での支援を行うなどの対応をしていきました。しかし、不登校の要因も無気力や家庭環境など様々で解決が難しく、不登校になると長期化するものが多く、改善が難しい状況であると報告を受けました。

今後も児童生徒への継続した支援、さらなる対策を推進してほしい。

## 学校再編計画の見直しを

### 教育長／児童数の推移で対応



たかし 高橋 議員

**議員** 築館地区宮野小学校の再編計画については、同校PTAが築館小学校との統合には反対との立場である。その理由として、適正規模の児童数を確保していること、また、宮野地区の

人口増加が見込まれるとされている。加えて、学校は単なる教育機関ではなく、地域住民の拠所としての機能を有している。

**教育長** 学校再編は、児童同士や児童と教師の間において多様な人間関係を育み、社会性を養う、望ましい教育環境を実現するために進めている。現在の宮野小学校の児童数は一定数の確保は見込めるが、適正規模は



望ましい教育環境の実現

**議員** 再編計画は平成31年度までとなっているが、**教育長** 31年度以降については学校の適正規模、適正配置により、望ましい教育環境を実現するための基本的な考え方に変わらない。**議員** 宮野小学校PTAや地区住民には説明を尽くしたのか。**教育長** 説明会については1回開催し、PTAおよび地域の方に参加いただいた。**議員** 宮野地区から宮野小学校区外にも通学している児童がいる。通学および通園区域に関する条例は守られているのか。**教育長** 宮野地区から市内外の小学校には46人が通学している。学区外の通学については、条例に合致すれば変更を許可している。

## 学校の教室に冷房の設置を

### 市長／暑さ対策は必要であると認識



そうま 相馬 勝義 議員



小中学校の教室に冷房を

**議員** 今夏の記録的猛暑で市内の小中学校内の気温が30度を超え、保健室を利用した児童生徒も多かったと聞いている。来年の夏までは、すべての小中学校の教室に冷房を設置すべきと考えるが、市長の考えを聞く。**市長** 市内の児童、生徒について、著しい健康被害はありませんでしたが、施設整備は、必要と考えている。国による学校施設環境改善交付金の増額計上を行うとともに、市としては、工事経費や、設置後のランニン

グコストの調査費用を、本会議において補正予算計上している。

### 市長公約である産婦人科設置

**議員** 市長公約である産婦人科の創設について、就任後から、現在までの進捗状況を聞く。**市長** 市長就任以降、実現に向けて、大病院教授等とお会いし、常勤医師の招へいをお願いしているが、スタッフの確保など課題があり、具体的な進捗はありません。非常に高いハードルであるが、目指している。

**議員** 設置の取り組みと並行して、既存の医院への支援も含めた策を考えては。**市長** 市内においては医療機関のみであると認識。他の自治体での補助金制度や、スタッフへの手当支援を行っているのと聞く。産婦人科医院などへの支援は、若者定住を目指す上でも必要と考え、市医師会の意見も伺いながら総合的に検討していきたい。



あべ 貞光 議員

## 学校保健安全法の対応は万全か

### 教育長／避難訓練および冷房設置などにより対応



来年からは暑さ対策も大丈夫

**議員** 学校保健安全法が施行され10年になる。各学校の取組み状況と暑さ対策はどうか。

**教育長** 全ての幼稚園と小中学校で火災と地震対応の避難訓練を実施し、併せて引き渡し訓練や弾道ミサイル対応訓練を行っている。暑さ対策は今年度熱中症モニタリング機器を購入し、幼稚園・小中学校に配置し気温31度以上の場合、運動を避けるよう文書で指示している。

**議員** 児童生徒の教育環境の為に冷房設備の設置を求める。  
**教育長** 補正予算で設置工事費などの経費や設置後の

ランニングコストなどの調査費用を計上している。

**議員** 3ヶ年で設置する計画となっているが、1年で全ての学校に設置すべきではないか。

**市長** 気持ち的には1年でできるのであれば全部設置したい。

## 栗原産米の新市場開拓を図れ

**議員** 米の消費が毎年8万トン減り続けている。新市場開拓として米の輸出を提案したが協議状況はどうか。

**市長** 8月31日には栗こ農協と先進的に取組んでいる県内の農協の視察を行っている。米の輸出は販売価格や輸出先の市場需要、輸出業者の選定など様々な課題があることから今後も農業関係機関と連携し、協議を行っていく。

**議員** 行政・農協のリーダーシップなくして米の輸出はないと考える。今こそ農業者を牽引すべきではないか。

**市長** 全農インターナショナル・神明・宝米穀など、様々な投げかけが来ているので協議しながら進める。

## 消防団員の充足を

### 市長／団員のメリットで確保拡大



ちかづみ 千昭 議員

**議員** 災害が発生する都度消防団員は、災害対応に当たるなど、重要な役割を果たしている。しかし消防団員数は年々減少し続け、地域における防災力の低下が懸念される。団員の充足率と団員確保の取組みは。

**市長** 毎年、成人式の際に、入団募集のチラシや啓発物品の配布、市民まつりでの募集活動、総務省作成の募集ポスターを事業所などに掲示、さらに広報くらはらに随時募集案内の記事を掲載し宣伝活動を行っている。条例定数は1800人で団員数は1637人で充足率は90・9%となっている。

**議員** 充足率の高い先進地を参考に団員確保に努められたいと思うがどうか。

## (仮称)防犯実働隊の条例化を

**議員** 市民生活にとって安全で安心な栗原市を目指して、多様化する犯罪から市民を守るため防犯協会や防犯組織に支援をしている。県内自治体では、(仮称)防犯実働隊を条例制定して犯罪防止に努めている。市での制定の考えはないか。

**市長** 条例制定については警察署と協議をしながら検討していく。  
**その他の質問** 市の障害者雇用について国道398号ダム周辺の枝葉の除去や立木伐採の県への要望について



栗原市総合防災訓練

# 小中学校のエアコン設置を単年度で

## 市長／財政負担を考慮し検討する



議員 堀 猛

**議員** この夏栗原市の小中学校でも、熱中症の症状を訴える児童生徒が昨年同期より約70%増加している。エアコン設置を急ぐべきではないか。市は3年計画のエアコン設置方針だが単年



快適な学習環境を

度で行うべきではないか。国の補助金は1割前後であり補助率の増額を求めよ。

**市長** 合併特例債などを検討し早期に設置できるように努める。国の支援は市長会を通じて国に申し入れる。

### 県水道事業 民営化に反対を

**議員** 栗原市は高清水、瀨峰地区の水道水を大崎広域水道から受水しているが、

県は水道事業の管理運営権を民間業者に譲渡する方針である。いのちの源である水は絶対的な安全性と安定性、安価に供給すべき公共性の高いものであり、営利を追及する企業経営にはそぐわないものである。先に民営化を行ったイギリスやフランスでは、水質の悪化や水道料金の高騰などで再公営化に戻している。受水人口の減や赤字を理由の水道事業の民営化に反対せよ。

**市長** 検討会の議論を注視していく。

**自然災害対策 調査結果は**

**議員** 栗原市での危険ブロック塀、土砂災害危険地域の点検は進んでいるか。

**市長** 学校付近にはブロック塀が624カ所あり危険ブロック塀は4カ所ある。土砂災害危険地域は518カ所で対象世帯は1678戸である。

## 市職員・非常勤職員の給与の改善は

### 市長／人事院勧告に基づき適切に対応する



議員 佐藤 悟



第4日曜の午前中も開所している金成総合支所

**議員** ①人事院は、8月10日月例給平均0・16%（655円）、一時金0・05%を引き上げる勧告を行った。平成30年度市職員の給与・期末手当、非常勤職員の賃金・諸手当などの引き上げが必要である。

②平成30年4月1日以降、障がい者法定雇用率は、民間は、2・2%、国・地方公共団体は、2・5%、教育委員会は、2・4%となった。市の雇用人数と雇用率は守られているか。

**市長** ①人事院勧告に基づき、一般職の職員の給与に関する法律の改正など行われた場合、また非常勤職員は、職員の初任給の引き上げ額を参考に、それぞれ適切に対応する。

②平成30年度は、実雇用人数14人（21人）、算定人数20人（25・5人）、雇用率1・87%（2・39%）である。

【（ ）は平成29年度。】

平成31年度以降の採用は、法定雇用率2・5%を下回ったことから、国の動向を注視し、対応する。

**議員** 連日30度を越える猛暑が続き、子ども達の健康が心配された。健康保持、学習など教育環境の改善のため、小中学校へのエアコンの早期完全設置が必要である。

**教育長** エアコン設置は、平成30年9月1日現在、小中学校12校で普通教室156教室のうち10教室、設置率6・4%。中学校8校で普通教室73教室のうち4教室、設置率5・5%である。9月補正予算に調査費を計上し、計画的に整備する。



佐藤 喜 議員

## 県の緊急点検ため池数は900で市の点検数と結果は 市長／点検数は200で応急措置の一カ所は早急に修繕



堤体・洪水吐などの管理が重要な農業用ため池

**議員** ①東日本大震災時の点検 被害は。②関東・東北豪雨での被害は甚大か。③ハザードマップ上のため池数は。④県の緊急点検数は900で市の点検数は。⑤調査内容は。⑥点検後の応急措置数と注視数は。⑦メガソーラー設置多く災害時に越流破壊の可能性は。  
**市長** ①法面、堤体などの被害173件で復旧済。②被害施設670件。内32件はため池で復旧済。③農業用1470。④200。⑤

堤体、法面の陥没亀裂など18項目で点検。⑥応急措置は一カ所で軽微な38件は観察し随時修繕。⑦現在、無い。  
**議員** 防災の総合的周知徹底に関し①ハザードマップ情報共有推進と職員派遣は。②防災マップ作成の進捗状況と指導体制は。③防災指導員養成講習の受講者数と地域別の配置状況は。④職員の防災士取得者数と市民などへの取得促進は。⑤児童、生徒への防災教育は。  
**市長** ①8月に自主防災組織代表者会議で説明。いとう市民セミナー活用依頼。②27から29年で計38件。社会福祉協議会の支援と防災アドバイザーの指導。255行政区中144区で作成。③市民435人と職員16人10地区に386人配置。④2職員取得。今後検討。  
**教育長** ⑤防災マニュアル作成し共通理解。各訓練や各防災副読本でも防災学習。  
**議員** 栗原市への来訪者歓迎のため庁舎などの公共施設に花や緑の環境整備を。  
**市長** 花のある風景は誰もが心和むもの。諸団体と協議し「おもてなし」を検討。

## 商工会と一体の中小企業振興策を

### 市長／意見交換を大事に、具体策を検討



佐藤 範 議員

**議員** 栗原ブロック商工会連絡協議会から要望のあった事項について、質問する。要望の内容は、いかに。  
**市長** 中小企業振興に市の基本計画の策定と、その中に雇用拡大奨励金の充実や



イベントでにぎわう栗駒岩ヶ崎の商店街

事業継承協議会の設立、商工会制度資金への利子補給などを盛り込むものである。  
**議員** 基本計画を策定せず、市総合計画で代替すると回答したが、どうしてか。  
**市長** 計画策定と審議会の設置が要望されたが、市総合計画に基づく施策の展開で対応できる。

もって廃止したのはなぜか。  
**市長** ここ数年、新規卒者の求人が大幅に増加し、雇用環境が改善したことで、当該奨励金は廃止した。  
**議員** 中小企業の事業継承協議会の設立は、どうか。  
**市長** 現在、宮城県が設置する事業引継ぎ支援センターの活用を要請した。  
**議員** 最も要望の強い小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の利子補給、特に市中小企業振興資金の貸付利率との差額分の補給支援については、どうか。  
**市長** マル経融資の貸付利率は1・11%、市振興資金は1・7%(2年間は2分の1補助の0・85%)である。市資金は信用保証料も減免し、活用しやすくした。  
**議員** 市は誘致企業には万全で、地元企業には冷淡だと評される。雇用面で唯一の奨励金制度を廃止するなら、雇用情勢に即応する新制度を創設すべきだ。

栗原市地域公共交通計画について

市長／基本的には「一迫ふれあいタクシー」を参考に



議員 小 文 男 議員 佐藤 文男

連合会の役員会で説明を行っている、意見を伺っている。

**議員** 市民の意見、利用者の声をどのような方法で聴取し、どのような意見が出され、どう計画に反映されたか。

**市長** 市内10地区10会場で意見交換会、市民説明会を実施、さらに、行政区長会



重い物も安心

域の拠点を結ぶ運行で、基本的には「一迫ふれあいタクシー」を参考にしている。

**議員** 協力事業者からは、一迫方式の乗合デマンド方式（予約時間、移動先）に問題があるといわれているのか。

**市長** 事業者からは朝の便などは「前日に予約していただくことで安全安心な運行に努めたい」との話があり、予約時間をできるだけ遅くできるよう、今後とも事業者と協議していきたい。

栗原市の障害者雇用率は

**議員** 栗原市の過去3年間の障害者雇用率はどうか。

**市長** 平成28年度は2・31%、平成29年度は2・39%、平成30年度は、9月3日付で、宮城労働局より障害者任免状況通報書の再点検にかかる依頼があり、1・87%となっている。

堆肥製造施設、栗駒の上田山牧野に問題あり再検討を

市長／説明会での意見やアンケート結果を踏まえ判断



議員 高橋 勝男



堆肥製造施設反対の看板とのぼり旗

**議員** 汚染牧草の堆肥化に向けた議論や市民説明会の進め方に問題があったのではないかと。堆肥製造場所を一度白紙に戻し、再度検討すべきと考えるが。

**市長** 説明会での意見やアンケート結果を踏まえ事業の方向性を判断すると共に、丁寧な説明を重ね、市民の理解を得た上で進めたい。

**議員** 県の処理方針には8000ベクレル以下となつた市内で保管されている汚染稲わら636トンも含まれている。市は、再測定の結果によらず国が責任を持って処分すべきと主張してきているが、国や県に市の主張は反映されているのか。

**議員** 市長は堆肥製造施設予定地の住民説明会に参加していないが、説明責任を果たしたと言えるのか。

**市長** 平成28年度に環境省が測定した結果、5カ所の保管場所のうち2カ所で平均値が8000ベクレルを下回っている。県では、再測定の結果8000ベクレル以下の汚染稲わらについては、県内の自治体で処理する計画である。市は、国の責任で処理するよう要望しているが、国から明確な回答が示されていないので、今後とも要望していく。

**議員** 堆肥製造施設建設予定地に反対する声や堆肥化への不安等などの意見があるが市長の考えは。

**市長** 説明会では、いろんな意見を頂いているが、さらに丁寧な説明が必要と感じている。





みつつか あずま  
三塚 東 議員

## コンプライアンス条例を制定すべき 市長／法令順守の共有に要綱で対応



職務は高い倫理観で萎縮することなく

を防止し、組織として不正行為を許さない風土を確立し、すべての職員が法令順守の意識を持ち、公正な職務の執行により市民の市政への信頼を確立することが重要である。

したがって、すべての職員が法令順守の意識を徹底して共有するために要綱などで対応したい。

**議員** 不祥事の再発防止のためには、計画的なあらゆる研修が必要である。新たな研修制度を導入して、市民の信頼の回復に努めるべきではないか。

**市長** 現在、再び不祥事を起こすことがないよう、8月30日から4日間、計8回810人の職員が法令順守の研修を受講した。

今後も法令順守の研修を継続的に開催するなどとともに、入札や契約および工事担当職員を対象に、公正取引委員会の職員を講師とした研修も実施したい。

なお、コンプライアンス条例の制定は調査・研究したい。研修の持ち方も、効果的になるよう検討したい。

**市長** 全国的には、コンプライアンス条例を制定している市町村も見られる。市として、不祥事の発生

## 水源地に処理施設建設反対

### 市長／市民の理解を得た上で進める



にこりぬま かずたか  
濁沼 一孝 議員

**議員** 汚染牧草処理方針案に栗駒上田山牧野を選定した理由は、

**市長** 風評被害に対する不安に配慮する為、山間地に位置する市有地を選定した。

**議員** 安全な施設であれば、

くに6戸の住宅がある。上田山水系から約40戸の家庭が生活用水に湧水を利用している。施設が被災した場合、汚染水、汚染物が三迫川に流入することが想定されることから水源地への処理施設の建設に反対である。

水源地でなく、下流の平地でも処理が可能でないか。汚染牧草は他地区に多くあり旧栗駒村には微量の牧草である。多くある下流で処理をすべきである。

**市長** 周辺環境に影響を与えない、安全に配慮した施設であるので今後も丁寧の説明をしていく。

**議員** イノシシの被害対策で農地に電気柵の設置や箱わな、くくりわな、囲いかななどで被害の減少を図っているが、農地と山林の境界に金網などの進入防止柵を設置してはどうか。

**市長** 出沒地域が広範囲であることから、費用の面で難しい。

**議員** 仙台市青葉区定義・川崎町・丸森筆甫で金網対策で効果を上げているので事例を参考にしたい。

**市長** 今後は金網柵も考える。その他の質問  
みちのく伝創館の音響の改善について質問をしました。



建設反対の旗

# 小中学校エアコン設置、繰り上げ設置を

## 教育長／できれば1年で設置したい



いしかわ しょうん 議員  
石川 正運

**議員** 近年の暑さは災害級といわれている中で、3年計画の設置方針を繰り上げ設置すべきではないか。

**議員** 多額の費用負担が伴うことからPFIを活用した設置調査も検討し、それらを踏まえて判断していく。

**教育長** 3年間の計画で各校の設置予定としているが、できれば1年で設置したい。エアコン設置には多



小中学校に早期のエアコン設置を

### 新設すべき 本店への進入路

**議員** 新みやぎ農協本店が

額の費用が見込まれる。そのため低廉で管理運営費の軽減のため、民間活力のPFI導入を検討すべきではないか。

**議員** 旧玉沢小学校に決定。JA職員が毎日150から200人が通つと予想されている。本店への進入路を新設すべきと考えるがどうか。

**市長** 農協本店への専用道路との位置づけになることや相当の事業費と期間が要する。本店へのアクセスと地域の交通安全、利便性が図られることから市道照越線の拡幅整備を進めていく。

**議員** この2路線は災害時や緊急車両が通るのに狭い。特に通称松原線は狭隘すぎる。救急患者を担架で運んでいる状況にある。早期の整備を求める。

**市長** 指摘されている道路は何回か走つたが軽自動車でもきびしい。夜走行すると脱輪しそうになることなどを考え検討していく。

## 施設の維持管理における現状を問う

### 市長／定期的な点検・整備がなされている



さわべ ゆきひろ 議員  
澤邊 幸浩



いつでもきれいな市役所であるように

**議員** 現在、閉鎖された施設などにおける維持管理は、統一的になされているのか。また、市役所正面玄関口における、ロータリーなどの管理についても、その整備状況を聞く。

**市長** 施設内の設備については、法定点検を行い管理されている。敷地内の除草についても、状況に応じて年2回から3回行っている。市役所の庁舎周辺の除草については、年3回実施しており、市職員においても、月1回勤務時間外に草取りやごみ拾いを実施して、市役所の環境美化に努めている。

**議員** リニューアルされたJRくりこま高原駅オアシスセンターの待合室を充実させるため、ディスプレイモニター画面にて、栗原に伝承される民謡や神楽などの映像で利用者を楽しませたり、栗原の地酒をPRできる自動販売機の設置などを要望するが如何か。

**市長** 今後、新たに放映する映像制作に際して、栗原に伝わる様々な郷土芸能なども取り入れられる内容にしたい。

**議員** 児童・生徒の学力向上の一環として、学び支援コーデイネーター等配置事業が行われ、学府くりはら塾の中で、様々な学習会が実施されている。今後、学び支援の学習会を恒常的に継続させるべく、市の自主財源を大いに活用すべきと思うがどうか。

**教育長** 学府くりはら塾における学習会においては、充実した学習会として成果が得られているものと捉えており、県補助金を財源としており、学力向上対策として必要な事業であることから、今後も事業の継続を県に働きかけて行く。

**議員** 学府くりはら塾に続き、学力向上対策として必要な事業であることから、今後も事業の継続を県に働きかけて行く。

**議員** リニューアルされたJRくりこま高原駅オアシスセンターの待合室を充実させるため、ディスプレイモニター画面にて、栗原に伝承される民謡や神楽などの映像で利用者を楽しませたり、栗原の地酒をPRできる自動販売機の設置などを要望するが如何か。

**市長** 今後、新たに放映する映像制作に際して、栗原に伝わる様々な郷土芸能なども取り入れられる内容にしたい。



たかはし 高橋 議員

## 教員の労働適正化で教育の質向上につなげ

教育長／仕事軽減し、自らを高める時間を確保できるよう進める



栗駒オートキャンプ場の調査

**議員** 学校統合は子供達にどのような影響が出たか。

**教育長** 適用度・満足度調査では、学校生活の基本、学級部分に効果が出た。

**議員** 算数・数学に課題ありとしているが教育研究センターの効果は。

**教育長** 指導力向上には役に立っているが、点数に反映できていないのは悔しい。指導力を積み上げても異動してしまうなど課題もある。

**議員** 学力偏重にならぬよう、学ぶ楽しさや自己肯定感などを大切に、今後に活かしていただきたい。

**議員** 週60時間超えの申告もあるが申告外残業もあるか。

**教育長** 少なからずある。

**議員** 外部指導員制度があるが、学校と意識共有が足りない声を聞く。地域スポーツを支える方に光を当てる協力体制を作り、負担軽減につなげてほしい。

**議員** 栗駒オートキャンプ場の再開は考えているか。

**市長** キャンプ志向の変化により、外出型に応えられる花山青少年旅行村を整備し誘客を図ってきた。ニーズを把握し、キャンプのあり方を研究する。

**議員** オートキャンプ場の調査は行うか。

**市長** 現地踏査を行う。必要かどうか専門家の意見を聞きながら検討する。

**議員** 不要備品の情報提供地域を市内全域に拡大してほしい。

**市長** 広い範囲での周知について検討する。

**議員** 対象に含まれてないピアノも追加してほしい。

**市長** 値段がつかないものについては、対象としていきたい。



栗駒地区民の「絶対反対」の意思を示すのぼり旗



おの 小野 久一 議員

## 「堆肥化施設」上田山牧野への建設をやめ、分散して安全保管をすべき

市長／丁寧な説明をし理解を得て進めたい

**議員** 汚染牧草処理のために建設するとした、市営上田山牧野への堆肥化施設はやめるべきである。汚染牧草処理方針の説明会を7月に栗駒三丁地区で、8・9月には畜産農家や市民を対象にそれぞれ3地区で開かれたが市長は市民の声、栗駒地区での猛烈な反対意見をどう受け止めたか。

**市長** 施設建設に伴う周辺環境への影響や風評被害を不安視する意見があり、一方で汚染牧草を保管する農家からは、早急に処理してほしいということである。処理方針についてさらに丁寧な説明が必要と感じた。

**議員** 市営上田山牧野への

象にそれぞれ3地区で開かれたが市長は市民の声、栗駒地区での猛烈な反対意見をどう受け止めたか。

**市長** 施設建設に伴う周辺環境への影響や風評被害を不安視する意見があり、一方で汚染牧草を保管する農家からは、早急に処理してほしいということである。処理方針についてさらに丁寧な説明が必要と感じた。

**議員** 市営上田山牧野への堆肥化施設建設をこのまま進めるのか。汚染牧草を1カ所を集めて処理することへの賛同は無理でないか、数箇所での安全な隔離保管（パイプハウスや汚染土壌のように土中保管など）に方針転換すべきでないか。

**市長** 説明会での意見やアンケート調査の結果を踏まえ理解を得た上で進めたい。隔離保管には広い面積が必要となるので難しい。市としては堆肥化を進めたい。

**議員** 納税者である市民が数戸で利用している道路であれば、市道と認定し市が管理すべきでないか。どのような要件があるか。

**市長** 道路幅員が4m以上で一端が県道か市道に接し袋小路の場合は車両の回転場所が設置されていることなどがあり、現地調査を行ない相談者に回答している。

**議員** 堆肥化施設建設をこのまま進めるのか。汚染牧草を1カ所を集めて処理することへの賛同は無理でないか、数箇所での安全な隔離保管（パイプハウスや汚染土壌のように土中保管など）に方針転換すべきでないか。

**市長** 説明会での意見やアンケート調査の結果を踏まえ理解を得た上で進めたい。隔離保管には広い面積が必要となるので難しい。市としては堆肥化を進めたい。

**議員** 納税者である市民が数戸で利用している道路であれば、市道と認定し市が管理すべきでないか。どのような要件があるか。

**市長** 道路幅員が4m以上で一端が県道か市道に接し袋小路の場合は車両の回転場所が設置されていることなどがあり、現地調査を行ない相談者に回答している。

深刻化するイノシシ問題をどうにする

市長／まずは市役所に相談に来た場合には現場を見る



議員 三浦 善浩

議員 イノシシの目撃情報や被害の報告が相次ぎ、深刻の度を増している。①目撃情報と被害額の推移は。また、人的被害は。捕獲した場合の処理は。②被害地域の分布は、どうか。③市内の現状についての認識は。また、問題視しているならば何が一番困るのか。『イノシシを何とかして欲しい』という住民の声に、どう応えるのか。④被害地域の住民を対象に、イノシシへの知識を深める住民学習会を開催してはどうか。



目撃情報が相次ぐイノシシ

は、栗原市鳥獣被害対策実施隊員により解体し、埋設処理する。②特に被害が多い地区は、栗駒、花山、金成、一迫の山間地及び中山間地。③繁殖数が多く、被害の拡大に対応が追いついていない状況にあり、営農意欲減退につながることも一番の問題と考える。今後捕獲を促進し、被害防止対策に務めていく。④「い・ど・う市民セミナー」の活用を願う。

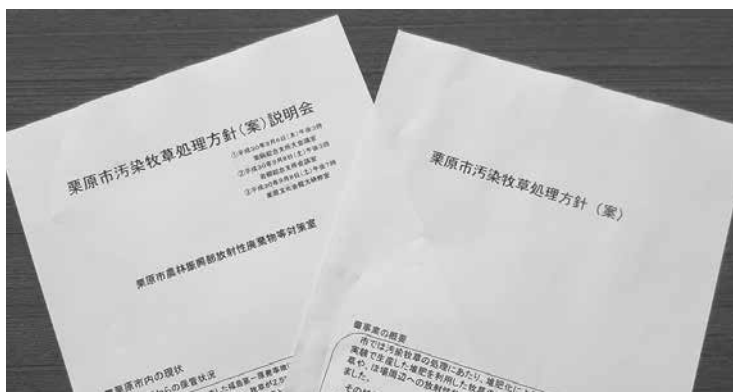
【その他の質問項目】  
▼マイナンバーカード取得について。  
▼外国人に向けた表記の追加（ごみの出し方《ルール》、ごみの指定袋、医療ガイド）について。  
▼SNSによる受付窓口の設置（市道修繕の画像添付など）。  
▼防災・減災の面から、市内一斉の避難訓練の実施。

汚染牧草処理の方向性について

市長／説明会の意見等を精査して検討



菅原 正剛 議員



栗原市汚染牧草処理方針（案）資料

議員 ①栗原市汚染牧草処理方針（案）説明会で一部市民から現状のまま保管すべきとの意見があったが、保管する場合のメリット、デメリットは何か。②堆肥利用アンケート調査結果はどのようになったのか。③堆肥化処理施設の候補地選定にあたり、市有の遊休地等で他に適地はなかったのか。また、災害等に耐える施設にすべきでないか。④現時点での考え方や方向性について聞く。

市長 ①減容化せずに保管する場合は、現在保管している汚染稲わらの敷地面積の3倍が必要で、土中に保管する場合はさらに広い敷地面積が必要になる。保管はあくまでも一時的なものでいずれ最終処分を行う問題がある。②汚染牧草から製造した堆肥を民有牧草地等へ散布する面積を把握するため畜産農家を対象に9月21日を期限にアンケートを実施。堆肥利用に協力できると回答された方は124人で、面積は121・4ヘクタールである。③処理施設は用地が60アール、電気・水道が必要、風評被害に配慮するため集落や農地から距離が離れていることを考慮し、山間地に位置し現在利用していない市有地から選定した。また、施設については大規模災害等に耐え得る設計とする。④これまでの説明会での意見やアンケート調査の結果を踏まえながら、一回精査をして、今後の方針について検討していく。

【その他の質問項目】

◆栗原市のPRについて  
◆若者の定住についてなど



すがわら ゆうき 議員  
菅原 勇喜

## 予定価格の事前公表を

### 市長／今回は見送る



官製談合などを報じる各紙

**議員** 予定価格の事前公表、最低制限価格の撤廃、低入札価格調査の導入、入札時入札価格内訳書の提出、入札監視委員会の創設など、宮城県などの先進事例に学んで入札制度の改善策を講じられたらどうか。

**市長** 現在、栗原市官製談合防止法違反容疑事件等検証委員会において審議している。具体的な見直し案の内容としては①低入札価格制度の導入のほか、②入札

監視委員会の設置、③工事費内訳書の確認の厳格化など、透明性、競争性、公平性をより一層高めるための見直しについて審議されているので、その結果を受けて、真摯に取り組んでいく。

**市長** 宮城県は予定価格の事前公表について、原則全部公表している。事前公表を行うことによって、設計価格の漏えいを防止するという効果があるとは考えているが、適切な積算を行わない業者であっても受注できる事態が生じてしまう弊害が指摘され、平成26年10月の総務大臣、国土交通大臣の通知にも記載されている。第3者委員会でも、強くやっただほうが良いという意見も出ていないので今回は見送らせていただきたい。

## 迫川堤防の高上げを

**議員** 若柳第2大橋下流右岸堤防が極端に低くなっていて、早急に改修されたい。

**市長** 県は高上げ工事などの補修を検討していくとのことなので、一層促進されるよう県に要望していく。

## 医師確保に万全を

### 市長／様々な角度から支援



ささき しょうご 議員  
佐々木 嘉郎

**議員** 地方の医師不足が深刻である。医学生一時金貸付事業の利用者は何人か。

**市長** 23人に貸付した。そのうち7人から返還されたので、貸付者は16人である。

**議員** 栗原市立病院勤務者は何人いるか。

**市長** 貸付者の内、現在、医師免許取得者は8人で、市立病院に3人勤務している。

**議員** インターネットで医師を募集しているが、実績はどうか。

**市長** これまで7人を医師として採用している。

**議員** どれだけの期間医師として、勤務してもらっているのか。

**病院事業管理者** 2人が現在も勤務。5人は短期間の



市内の高校から医学部へ

**議員** 勤務で退職した。

**議員** 全国公募でも医師が集まらない。栗原の子供たちが「医師になるんだ」という思いを、後押しする施策が必要ではないか。

**市長** 教育で大事なことは上を目指させること。才能に制限を感じさせないように頑張っていく。

**議員** 医学生一時金貸付事業は760万円だが、これとは別に私立医大対応で、3000万円の別枠事業も考える時ではないか。

**市長** 金銭面での支援もあると思う。今後様々な角度から検討していきたい。

**議員** 県立循環器・呼吸器病センター跡地利用について。診療所を平成31年4月開業と説明してきたが。

**市長** 医療法人仁泉会が、8月に現地事務所を開設しスタッフ募集準備中だ。診療所は、平成31年下期開設と聞いている。



## フィットネスを通して 活気ある栗原へ

私は現在、栗駒スポーツセンターのトレーニング室に定期的に通い、汗を流しています。数年前は数える程の人しかいませんでしたが、今では老若男女問わず多くの人が来られています。その光景を見て、栗原にもフィットネスが浸透しつつあると感じます。

運動が身体にもたらす効果は、各メディアで紹介されている通り計り知れないものがあります。自らの健康状態にも目を向ける事になり、食に対する考え方も変わりました。少子高齢化が叫ばれる中、フィットネスにより自信に溢れ活気ある人が増え、お年寄りの健康寿命も伸ばし、地域活性化につながると思っています。

市政には、スポーツ施設への設備投資、更なるイベントの企画など、ますます栗原にフィットネスが浸透するよう働きかけていただきたいと思います。



佐々木勝康さん  
(鷺 沢)

# 私もひとこと

## 住みやすい栗原へ



佐藤 泰子さん  
(金 成)

地区内で近頃感じることは、交通の不便さです。車の運転ができない方が多く見受けられ、通院や買い物に不便をきたしています。特に、1人暮らしの高齢者の方々にとっては深刻で、喫緊の課題でもあると思います。私たちも、いつまで車の運転ができるかは解りません。そのことを思うと不安にもなります。必要な時に、必要な場所に移動できることは不安の解消にもなり、安全安心なまちづくりの基礎になるものと思います。自宅から目的地までの交通手段については、乗り合いタクシーの事例などが新聞などで報じられております。また、タクシー利用に対する助成があれば負担が少なく、躊躇なく利用できるのではなにかと考えます。当然、市の財政負担を伴う事業になるかと思いますが、少しでも住みやすく、笑顔で暮らせる栗原市であるようお願いいたします。



栗駒山に惹かれ、今年も登山客で賑わいました。私も友人らと登り、「神の絨毯」と呼ばれる紅葉を楽しみました。新米で握ったおむすびを持参して、今年の米の出来に舌鼓を打ちました。山頂で食べるおむすびは、栗原の大地が水、農地に恵まれた土地であることを感じさせ、自然に囲まれた生活の贅沢さを再確認。下山は水と4人分の食料がお腹に入り、リュックが軽く感じました。これからもわかりやすい議会情報の発信に努めます。

高橋 将

### 広報編集調査特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 佐藤 悟   |
| 副委員長 | 菅原 正剛  |
| 委員   | 菅原 喜一  |
| 委員   | 佐藤 庄一  |
| 委員   | 小野 久一  |
| 委員   | 澤邊 幸浩  |
| 委員   | 鹿野 芳幸  |
| 委員   | 高橋 将   |
| 委員   | 菅原 喜光  |
| 委員   | 阿部 貞光  |
| 議長   | 瀬戸 健治郎 |